

3 持続可能な行財政運営

今後、市の財政は厳しい状況が続くと予想されます。その一方で、行政に求められる役割は、時代とともに多様化しています。

そこで、限られた資源を効果的にバランスよく振り分けながら、デジタル技術等を賢く活用して、持続可能な行財政運営を進めていきます。

行政資源の最適化

政策 6

- ・公共施設の適正配置をはじめとした施設マネジメントの推進
- ・自治体DX※(デジタルトランスフォーメーション)の推進による行政サービスの利便性向上および業務の効率化
- ・事務事業の必要性の精査



閉校した栄小学校が生まれ変わった栄市民活動交流センター



書かない窓口

※自治体DX…行政手続のデジタル化や行政内部のデータ連携等を通じ、市民の利便性向上と業務効率化を図るもの

自主財源の確保

政策 6

- ・適正な課税・収税業務による市税収納率の向上
- ・返礼品事業者の拡充等、ふるさと納税の推進



ふるさと納税返礼品

計画全文はホームページへ



第六次北本市総合振興計画は市ホームページに全文を掲載しています。計画の達成状況等も随時公表しますので、ぜひご覧ください。



2 地域資源を活かしたまちづくり

先人から受け継いだ豊かな自然、歴史、文化、そしてこのまちに関わる「人」は、北本市の大切な地域資源です。これらを守りながら、上手に活かして新しい魅力を生み出し、市民の皆さんに「これからもずっと、このまちで暮らしたい」と思えるまちづくりを進めていきます。

都市近郊にある豊かな自然の保全・活用

政策 2

- ・自然環境の保全・活用
- ・公園の整備と緑地の保全・活用



きたもと里山ラボ



雑木林(中央緑地)の保全



水辺プラザ公園のバーベキュー・焼き火実証実験(イメージ)

固有の歴史・文化の普及・啓発、保存・活用

政策 3 政策 4

- ・デーノタメ遺跡の保存・活用
- ・文化財の普及・啓発
- ・教育や観光等、さまざまな分野における文化財の積極的な活用



デーノタメ遺跡ハンドブック

まちに関わる「人」のつながりづくり

政策 3 政策 4 政策 5

- ・人と人とのつながりづくり
- ・居場所づくりや多様な交流の推進
- ・互助や共生の機運の醸成



多世代・多機能型居場所「緘月」(シェアスペース&シェアキッチン)



&green market

1 定住人口の維持および交流人口・関係人口の増加

北本市を支える一番の役割は、そこで暮らす市民の皆さんです。これからも安心して住み続けていただける政策を実施し、「定住人口」を維持していきます。また、観光等で北本市を訪れ、滞在する「交流人口」を増やし、お店や地域の経済を元気にしていきます。さらに、一度きりの訪問だけでなく、何度もまちに関わる「関係人口」の輪を広げ、多様な視点を持つ人たちと手を取り合い、地域のさまざまな課題を一緒に解決していきます。

住み続けたいまちづくり

政策 1 政策 3 政策 4 政策 6

- ・子育て・教育環境の充実
- ・子ども・若者への手厚いサポート
- ・若者世代をターゲットとしたシティプロモーション



児童館利用者支援事業



こども医療費・ひとり親家庭医療費の給付



若者チャレンジプロジェクト「ふみだスコレ」

北本市を訪れる人、継続して関わる人の拡大

政策 4

- ・来訪者を増やす観光行事や街なかでにぎわいを生み出すイベント等
- ・まちの魅力を知り、自分らしく関わる文化の醸成
- ・ふるさと納税を活用した地域活性化



北本まつり「宵まつり」



市民リポーター



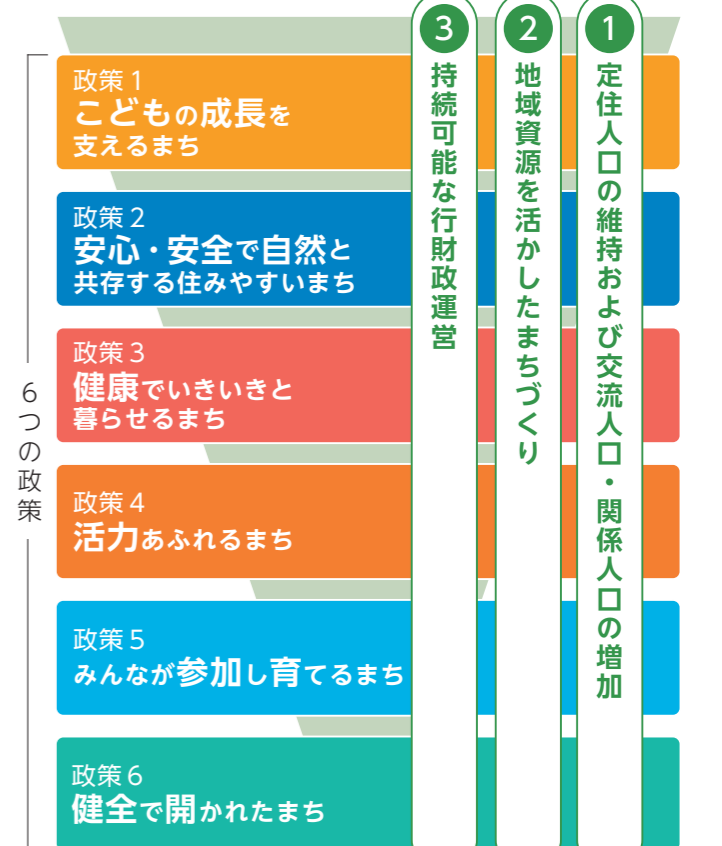
ふるさと納税寄附者ツアー

第六次北本市総合振興計画 人口の変化を 踏まえたまちづくり

3つの 基本的な考え方

本計画の大きな特徴は、人口減少・少子高齢化といった社会情勢に対応する「人口の変化を踏まえたまちづくり」を定めていることです。その方向性として、北本ならではの「ヒト」「モノ」「カネ」を活用した『3つの基本的な考え方』について、具体的な取組みとともにご紹介します。

3つの基本的な考え方



[将来都市像]

緑にかこまれた健康な文化都市